

## 算数・数学科 小学校第5学年カリキュラム

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
4	整数と小数	A (2)ア	4		小学校第4学年 ・整数のしくみ (位取りまとめ) ・小数のしくみ (位取り)	○小数も整数と同じ十進数であることや位取りの原理を理解させる。	中学校第1学年 ・正負の数、自然数 中学校第3学年 ・平方根	
	直方体や立方体の体積 (1)もののかさの表し方 (2)いろいろな体積の単位		11		小学校第3学年 「箱の形」 小学校第4学年 「直方体と立方体」 「面積のはかり方と表し方」	○面積の求め方と関連づけ、体積は一辺が1cmの立方体を単位とすることをとおさえる。 ○複合図形では、多様な求め方を出し合い、考えを説明したり、式から考えを推測したりする算数的活動を行い理解を深めさせる。	小学校第6学年 ・角柱、円柱の体積の求め方と公式	
5	小数のかけ算(1) 小数のかけ算 (小数×小数) (2)小数の倍	A (3)イウ	11 +1	積の見通しを立てることが困難な児童が多いので、既習事項の小数×整数を十分に復習した上で、小数をかけるというのはどういうことなのかという意味理解を徹底させる時間を十分に確保する。	小学校第4学年 「小数のかけ算とわり算」 ・小数×整数の計算 ・小数倍の意味	○小数×小数では、乗法の意味をとらえ直すとともに、既習の整数の計算に帰着させて計算方法を考えさせる。 ○かける数が1より小さいと積は被乗数より小さくなること、小数の範囲でも、計算法則や計算のきまりが成り立つことを数直線図や実際に計算することを通してとらえさせる。	小学校第6学年 分数・小数の混合計算	
6	小数のわり算(1) 小数のわり算 (小数÷小数) (2)小数の倍とわり算	A (3) イウ	13 +1	小数どうしのわり算の筆算の仕方、小数のわり算のあまりの位取り、商を概数で表す等、児童のつまづきが多くみられる単元である。そこで、指導時間を確保し、学習内容の定着を図る必要がある。	小学校第4学年 「小数のかけ算とわり算」 ・小数÷整数の計算 ・小数(整数)÷整数 ・小数倍の意味	○除数が小数の場合の除法の意味とその計算の仕方を理解と用いる能力を高める。 ○計算法則は、数範囲が小数の場合でも成り立つことを理解させる。 ○除数と被除数を10倍、100倍、…として、整数÷整数に帰着して計算すればよいことを、具体的な事実にしてその意味を理解させる。	小学校第6学年 「分数のかけ算とわり算」	
	★どんな計算になるのかな		1					
7	合同な図形	C(1)イウ	9		小学校第4学年 ・台形、平行四辺形、ひし形の概念、性質、かき方	○図形の構成要素をおさえるとともに、重ねたり、測ったりする活動を通して対応する角、辺について理解させる。 ○合同条件についてのまとめはないが、上学年への接続を重視し、作図を通して合同な図形をかく方法をしっかりとらえさせる。	小学校第6学年 ・拡大図、縮図のかき方 ・線対象図形の概念、性質、かき方	

月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
8	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">偶数と奇数、倍数と約数</div> 偶数と奇数 (1) 倍数と公倍数 (2) 約数と公約数	A (1) アイ	1 1	整数を倍数、約数などの観点で分類するよさに気付き、性質を調べる態度を身につけることが、中1で扱う「正の数、負の数」及び中2の素数の学習への円滑な接続に重要である。意味理解等を図るため重要指導内容とする。		○整数を倍数、約数、公倍数、公約数、最小公倍数、最大公約数の観点からみることにより、整数の理解を深める。 ○倍数、約数、公倍数、公約数は集合の考え方を用いて明確に把握する。 ○分数の通分や約分の基礎となるため丁寧に扱い、技能の徹底を図る。	中学校第1学年 「正負の数、自然数」 ・一の位 ・十の位 ・＋、－、＝ ・自然数 ・符号 ・絶対値 ・項 ・係数 ・ $\leq$ $\geq$	■3桁の同じ数をつないで6桁にして $\square \div 7 \div 11 \div 13$ をしてみよう。 例) $846846 \div 7 \div 11 \div 13 = 846$ なぜ元の数に戻るのだろう $7 \times 11 \times 13 = 1001$ 1001倍になることに気づかせる。(電卓の活用)
9	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">単位量あたりの大きさ</div> (1) 平均 (2) 単位量あたりの大きさ	A (1) ア	1 6		小学校第2学年～第5学年 ・いろいろな量の単位と測定 ・いろいろな表やグラフ	○異種の二量の割合としてとらえられる数量について、その比べ方や表わし方の理解と用いる能力を高める。次のような例は、扱う二量が異なるだけで考え方は同じであることをおさえる。 ・混み具合 身近な事象から一方をそろえて他方を比べる ・人口密度(1k m <sup>2</sup> /人口) ・収穫(1 m <sup>2</sup> /収穫量) ・仕事量 (1 単位時間/仕事量)	小学校第6学年 ・速さ ・量の単位のしくみ ・比例・反比例 ・資料の平均、度数分布 中学校第1学年 ・比例、反比例 ・資料の散らばりと代表値	
10	★かたちであそぼう		1					
	★考える力をのばそう		2					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">分数と小数</div> わり算と分数 (1) 分数と小数、整数の関係	A (4) アイ	6		小学校第4学年 「小数」 「分数」 小学校第5学年 「小数と分数のしくみ」	○分数、小数、整数の相互関係に関して、数直線上に表してまとめながら、分数、小数、整数を同じ数として見ることができるようにする。 ○倍を用いて比較する活動では、基準量、比較量を明確にとらえさせるとともに、分数倍のよさに気づかせるように進める。	小学校第6学年 「分数のかけ算とわり算」	■類似の問題を用意する。また、分数と小数の大小比較の問題も用意する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <math>2 \frac{5}{8} - 1.25 + \frac{1}{3}</math> </div>
	★算数の目で見てみよう		2					



月	単元・指導内容	学習指導要領の内容	時数	重点化の理由	下学年等での既習事項	円滑な接続への留意事項	上学年等での学習事項	備考 ■実践例、◆課題
2	考える力をのばそう		1			○変化する2つの数量とその和や差を表に表すことを通して、変化の規則性を見つける問題解決の力を高める。		
	かたちであそぼう		1			○一筆書きに潜む偶数、基数との関わりや成立の条件を理解させ、一筆書きや図形への興味をもたせる。		
	正多角形と円周の長さ (1) 正多角形 (2) 円の周りの長さ	C (1) アエ	11		小学校第4学年 「垂直・平行と四角形」 ・台形、平行四辺形、ひし形の概念、性質、かき方 小学校第3学年 「円と球」 ・円の概念、性質、かき方 ・直径と半径の関係	○正多角形の概念、性質、かき方を理解させる。 ○円のまわりの長さについては、中学校への学習内容の接続を考え、半円の組み合わせでできる形等についても扱い、柔軟な見方を育てる。	中学校第1学年 ・おうぎ形の弧の長さや面積 中学校第2学年 ・円柱・円錐の表面積	
分数のかけ算とわり算	A (4) カ	6 +1	分数に整数をかけることの意味、分数を整数でわることの意味についての理解を面積図などを用いてしっかりと行う必要がある。これは、第6学年で学習する「分数×分数」「分数÷分数」の計算のしかたを導き出す過程においても大変重要である。計算技能だけでなく、計算の意味の意味を理解することをしっかりと行う時間を確保する。	小学校第4学年 「小数のかけ算とわり算」 ・小数×整数、小数÷整数 小学校第5学年 「小数のかけ算」 ・小数×小数の意味と計算 「小数のわり算」 ・小数÷小数の意味と計算	○分数に整数をかけることの意味と計算のしかたについて理解させ、用いる能力を高める。 ○分数を整数でわることの意味と計算のしかたについて理解させ、用いる能力を高める。 ○分数の性質や既習計算をもとに計算の意味を説明できるようにする。	小学校第6学年 「分数のかけ算」 ・分数×分数の意味と計算 「分数のわり算」 ・分数÷分数の意味と計算 ・分数倍の意味	◆計算技能の取得のみに偏る傾向がある。計算の意味を理解することや計算のしかたを筋道を立てて説明できる力を付けることが課題である。	
3	角柱と円柱 (1) 角柱と円柱 (2) 角柱と円柱の展開図	C (2) ア	5		小学校第4学年 「直方体と立方体」 ・直方体や立方体の展開図、見取り図	○角柱、円柱の概念、特徴、性質を理解させる。 ○角柱、円柱の見取り図と展開図については、底面と側面の数や形を具体物をもとに正しくとらえさせながら、立体図形の観察と表現の能力を高めさせる。	中学校第1学年 「空間図形」	
	算数の目で見よう		2			○ゴミの減量と二酸化炭素に関する資料の読み取りから、既習を活用して問題を解決する力を高める。		
	算数おもしろ旅行		2			○クイズやパズルを通して算数・数学に対する興味をもたせる。		
	5年のふくしゅう		2			○5学年の学習内容の総復習をさせる。		
	合計		175					

--	--	--	--	--	--	--	--	--